

お客様各位

株式会社 セゾンテクノロジー
HULFT テクニカルサポートセンター

Exchange Online の RBAC アプリケーション偽装廃止による
PIMSYNC Microsoft Office 365 Exchange Online アダプタへの影響について

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
PIMSYNCにおいて、2024年5月、2025年2月に実施される Exchange Web Services(EWS) のアップデートにより、Microsoft Office 365 Exchange Online アダプタが影響を受けます。
Microsoft Office 365 Exchange Online アダプタをご使用のお客様は、下記内容をご確認ください。

－記－

1. 対象製品及びバージョン

－ PIMSYNC

※下記影響範囲のアダプタをご利用のすべてのバージョンが対象です。

2. 影響範囲

－ Microsoft Office 365 Exchange Online アダプタ

3. 影響内容

2024年5月

Exchange Online で「ApplicationImpersonation」役割が割り当てられなくなります。

※既に「ApplicationImpersonation」役割を割り当てている環境では、引き続き使用できます。

2025年2月

Exchange Online で「ApplicationImpersonation」役割が使用できなくなります。

PIMSYNCで Exchange Online と同期する際には、サーバー設定に登録するユーザーに「ApplicationImpersonation」役割を割り当てる必要があります。
このため、後述するパッチモジュールを適用しない場合、以下のような影響を受けます。

・2024年5月以降

2024年5月以降に作成されたユーザーをサーバー設定に登録しても、Exchange Online とデータが同期されません。

・2025年2月以降

Exchange Online とデータが同期されません。

参考情報

- ・ PIMSYNC オンラインヘルプ - 「ApplicationImpersonation」 役割の割り当て
https://www.hulft.com/help/ja-jp/PIMSYNC/latest/help/ja/adapter_guide/microsoft_office_365_exchange_online/environment_setup.html#admin
- ・ Retirement of RBAC Application Impersonation in Exchange Online
<https://techcommunity.microsoft.com/t5/exchange-team-blog/retirement-of-rbac-application-impersonation-in-exchange-online/ba-p/4062671>

4. 回避策

回避策はありません。

5. 今後の対応

「ApplicationImpersonation」 役割の代替として案内されている、「Role Based Access Control for Applications」に対応するパッチモジュールの提供を予定しております。
パッチモジュールのリリース日については、改版にてお知らせします。

2024年5月以降に Exchange Online で新規に環境構築をされるなど、早期の対応が必要な場合には、先行提供モジュールをご提供いたします。

ご希望のお客様は、技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。提供可能になり次第、モジュールを送付いたします。

■先行提供モジュールについて

先行提供モジュールは、早期にご提供するために、事象の修正を中心とした簡易な確認のみ実施します。そのため正式版のパッチモジュールと比較して、以下の制限があります。

・ 検証範囲

修正箇所に対する機能のみ確認します。

・ サポートサービス

先行提供モジュールを適用した環境も、サポート対象としてお問い合わせに対応いたします。
しかしながら、先行提供モジュールに対して個別の対応が必要な場合、正式版パッチモジュールをお待ちいただくことがありますので、ご了承ください。

6. 当ご案内に関する問い合わせ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

【改訂履歴】

2024年4月16日	初版作成
------------	------